

織物分解設計マイスター認定者の声

織物分解設計マイスター認定制度とは、
県内繊維産地の企画提案力向上を目的に能登繊維振興協会が主体となり「織物分解設計」のプロを育成する制度。
講座は全10回で、糸から生地、染色加工の各工程の習得はもちろん、生地を分解し試織設計の作成や生産ロット・コスト計算に至るまで、認定試験に合格した者は織物分解設計のスペシャリストとなる。この認定試験に合格された13名を順番にご紹介いたします。

認定番号 0005
丸井織物株式会社
産業資材事業部
産業資材課
枝野 彬さん



【試験を受けたきっかけ】

日々の設計は、車両用資材、生活資材などの産業資材系の生地の設計に携わる。入社4年目となり、生地の設計者としてのポジションを確かめるため受験した。

【今後の抱負】

所属していた部署が昨年産業資材事業部として大きくなり、会社としても非衣料向けに力を入れる中、提案する商品の品質にマイスター認定者としての自信を添えて、客先の要望に応じていきたい。

認定番号 0006
株式会社羽田
開発主任
八田 卓也さん



【試験を受けたきっかけ】

入社して10年、開発を担当してきた。分解設計の技術を先輩から社内継承するため受験した。

【今後の抱負】

現在、当社の主力商品の一つである中東向け民族衣装を分解設計して開発中です。これまでは先輩に聞くことができたが、マイスターの認定を受けたことで、自分で考えて答えを出すことができるようになった。社内での対応も少しずつ変わってきたと思う。これからの業界の変化に対応するため、新事業向けの開発にも挑戦したい。

認定番号 0007
前多株式会社
開発部
葭田 悠介さん



【試験を受けたきっかけ】

学生の頃から、地域の活性化やモノ創りに対して興味があり、産元商社であればその一助を担えんと同社に入社。機屋さんに対して、設備投資が難しい中、今ある設備でより優れたモノ創りを提案するため受験した。

【今後の抱負】

これからも産地が持続可能なモノ創りを実現するため、マイスター制度で得た知識をフルに活用し、製造現場の方々に頼られる存在でありたい。

認定番号 0008
創和テキスタイル株式会社
合織部門
業務部 生産管理課 係長
高橋 翔太さん



【試験を受けたきっかけ】

弊社で学んだ開発としての知識が他社でも通用するのか。また、他社ではどのように織物分解をし、設計を作成するのか興味があり本講座を受講した。

【今後の抱負】

私は幸運にも開発部門に携わったことで、繊維や織物に対して自然と学ぶ機会を得られたが、すべての社員がその機会を得られるわけではない。今後は、マイスター制度で得た知識を自分自身のためではなく、会社のため、若い人たちのために提供していきたい。

織

維

2021年・2号

い

し

か

わ



令和2年度 いしかわ「次代を創る可能性素材展」

今号の内容

- ・石川県繊維協会・新会長に遠藤幸四郎氏
- ・令和3年度 いしかわ繊維大学 基礎講座（初級）が開講
- ・繊維リソースいしかわ株主総会開催
- ・事業再構築補助金 採択結果
- ・令和3年度 いしかわ繊維大学 モノ創り支援講座（中級）受講生募集中
- ・北陸ヤーンフェア2021
- ・いしかわ『次代を創る可能性素材展』（仮）開催のご案内
- ・「デジタル化推進」「働き方改革」訪問支援事業のお知らせ
- ・繊維分解設計マイスター認定者の声

石川県繊維協会・新会長に遠藤幸四郎氏

5月28日（金）開催いたしました石川県繊維協会理事会と総会において、新たに遠藤幸四郎（㈱繊維リソースいしかわ社長）が会長に就任致しました。主な役員は以下のとおり。

会 長 遠藤 幸四郎（㈱繊維リソースいしかわ社長）
副 会 長 藤 原 篤（一村産業㈱社長）
山本 一人（前多㈱社長）
吉田 忠司（吉田司㈱会長）
専務理事 飴谷 義博



【遠藤新会長挨拶要旨】

新型コロナの影響により繊維産業の構造が大きく変わりますが、北陸産地が持つ高い技術力を結集させることでコロナに打ち勝つことができると信じております。

「サステナビリティ」、「機能」、「デジタル化」の3本柱をキーワードに、後に続く人たちのため、業界のため、これまでの恩返しのため取り組めます。

これまでの活動報告

令和3年度 いしかわ繊維大学 基礎講座（初級）が開講

糸からアパレルまでの一般的基礎を中心とした技術や知識を習得することで、各工程の連携したモノ創りを学びます。

講師は、各工程に従事されていた方や県工業試験場の専門の方よりご指導いただきます。

日 程：7月7日（水）～8月25日（水）

会 場：石川県地場産業振興センター新館第10研修室ほか
受講者数：46人



<開講式の様子>

繊維リソースいしかわ株主総会開催

株主総会が開催され、原案どおり議決されました。

日 時：令和3年6月28日（月）13：30～

場 所：石川県地場産業振興センター新館3階

議 案：（1）第31期（令和2年4月1日～令和3年3月31日）貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記承認について
（2）取締役の任期満了に伴う選任について

事業再構築補助金 採択結果

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化している中、新分野展開、事業転換、業態転換などの事業再編目的とした補助金の採択結果が公表されました。

企業名	事業計画名
㈱クロダレース	アウトドア需要の高まりに対応するレース製スポーツインナーの自社企画製造
㈱羽田	ドロイング工程の内製化によるメッシュ等産業資材分野への進出
カジレーネ㈱	金属ワイヤー代替の革新素材であるフレキシブルカーボンワイヤーの事業化
㈱オリジナークロスジャカード	ライフスタイルを織物の世界で表現する「BtoC」ビジネスモデルの構築
前多工業㈱	防透性と風合いに優れた織物による中東向けトープ市場への参入
カジニット㈱	和紙糸複合糸の細繊維化による独自のサステナブル製品ブランドの創出
倉庫精練㈱	新規デジタルプリント事業への取組みによる事業転換
加賀工業㈱	超極細ガラス糸を高密度で織り上げる技術が切り拓く新分野新事業

これからの活動予定

令和3年度 いしかわ繊維大学 モノ創り支援講座（中級）受講生募集中

「サステナビリティ」をキーワードに商品創りの為に“ニーズの習得”と“開発、販売人材育成”を目的とし、日本及び世界市場での商品、販売力の構築を目指します。

日 程：9月8日（水）～10月14日（木）

会 場：石川県地場産業振興センター新館第10研修室

定 員：50名

【お申込み・お問い合わせ】

㈱繊維リソースいしかわ 担当 北川 TEL076-268-8115



<昨年の中級講座の様子>

北陸ヤーンフェア2021

今年度で4回目となり、開催場所を福井県に移し下記の日程にて予定しております。

日 時：令和3年10月26日（火）、27日（水）、（25日（月）搬入日）

テーマ：「SUSTAINABILITY&INNOVATION」～アフターコロナに向けて

場 所：福井県産業会館（福井市下六条町）

お申込期間：令和3年7月末日迄

【お問い合わせ】

福井県繊維協会 担当 木下 TEL0776-22-1411

石川県繊維協会 担当 北川 TEL076-267-2171



昨年の会場の様子

いしかわ『次代を創る可能性素材展』（仮）開催のご案内

昨年はコロナ禍の感染リスクを踏まえ、「リアル」と「オンライン」を融合したハイブリット展示商談会を開催いたしました。現在急速にワクチン接種も進んでいることから、秋には社会経済活動が活発化することを見据え、今年度は同館の大ホールを利用して「リアル」な展示商談会を開催致します。

つきましては、下記の日程にて開催致しますので出展を希望される方は、別紙申し込み用紙にて7月30日（金）までに㈱繊維リソースいしかわ（FAX：076-268-8455）までお願い申し上げます。

よろしくお申し込み申し上げます。

開催日：令和3年11月11日（木）、12日（金）（10日（水）準備日）

10：00～18：00（12日 17：00）

場 所：WITH HARAJUKU 大ホール（東京都渋谷区神宮前1-14-30）

来場者：JAFIC会員約200企業、セレクトショップのバイヤー及びデザイナー

参加費：50,000円/1社

出展企業：13社程度



昨年の会場の様子

（ご 案 内）

「デジタル化推進」「働き方改革」訪問支援事業のお知らせ

「デジタル化推進」訪問支援では、ITを活用して自社の工場や事務所等の業務改善・生産性向上を図りたいといった中小企業様を支援するためデジタル化の推進に精通した専門家を無料で派遣いたします。

「働き方改革」訪問支援では、働き方改革関連法への対応における様々な課題に対して、石川働き方改革支援センターより社会保険労務士等の専門家を無料で派遣し相談支援を行います。

詳細・お申込みはホームページ<https://www.ita.or.jp/>より。

【お申込み・お問い合わせ】

石川県繊維協会 担当 石崎 TEL：076-267-2171